

『時事直言』 No.1605 2023年5月24日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

米民主、共和債務上限引き上げ論争は下らない茶番劇

国家の債務がGDP比260%の日本を筆頭に、アメリカもほとんどすべての民主主義陣営諸国は「潜在的財政破綻状態」である。

財政は毎年黒字化することなく、赤字は雪だるまのように累積し続ける。

日本では2001年の第一次小泉内閣で、小泉首相に「経済丸投げ」された竹中平蔵氏は歳入と歳出をゼロにするプライマリーバランスというあり得ない空想を打ち出したが、ご本人が認めているように、歳入・歳出も財政収支も黒字になることは太陽が西から昇るのと同じで、絶対にあり得ないことである。

たまたまアメリカでは債務の上限を上げるのに議会の承認が必要になっているが、日本をはじめどの国でも債務に上限も下限もなく、債務は自動的に膨らみ続ける。

竹中氏のプライマリーバランスと同じくアメリカの債務上限切り上げに議会承認を必要としているのは、実際は信用失墜している通貨信託をカモフラージュする為、いかにも財政健全化の努力をしているように見せる「そぶり」である。

アメリカでも議会は自動的に債務上限切り上げを承認するのが筋なのに共和・民主党が「政争の具」にしているだけのことである。

今回は来年に大統領選が控えているだけに共和・民主党共に、「アメリカが債務不履行に陥る」などと世界中を大騒ぎに巻き込み、いかにして自党を有利に演出出来るかの茶番劇をしているに過ぎない。

日本ではなくアメリカの話だが、「あわやアメリカ債務不履行か？」で株価が下がったら急いで買えばいい。

こういうくだらない茶番劇の大騒ぎで興奮させて頂いて若返りに役立てさせて頂くのも良いのでは。

もっとまじなことを「目からウロコのインターネット増田塾」で勉強しましょう。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.133

『今こそアメリカ、ヨーロッパ、中国、ロシア、日本の真実を知ろう』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 133 は大好評発売中です。内容は、*ドルはユダヤ資本に使い捨てられる *東西冷戦でのアメリカ主導西側陣営と中国主導東側陣営の強みとアキレス腱 *ドルと人民元の通貨戦争が東西冷戦の勝敗を決める *通貨戦争に勝つ増田の秘訣は両刃の刃 *2023年末までに起きる政治・経済問題 *ビジネス、投資、資産蓄積に役立つこれだけのことなどです。価格は、1冊 4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。